



文責 本宮小学校長 佐久間仁

学校訪問II

(加配校訪問)

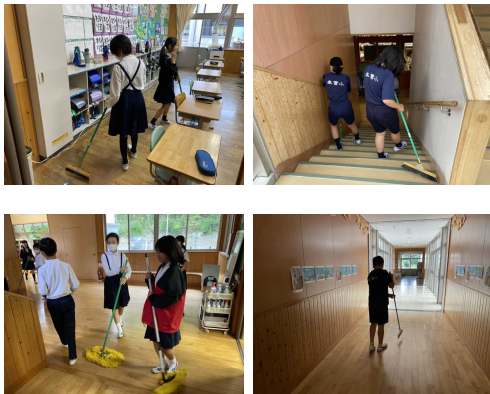


一昨日の要請訪問に続いて、昨日も福島県教育庁義務教育課、県北教育事務所及び本宮市教育委員会の方々が来校しました。この学校訪問は、おもに特別支援学級負担軽減教員の先生の現状や課題を把握し、支援を要する子どもたちのよりよい成長のために何ができるかを話し合うことが目的でした。おもに、はなやま学級の授業の様子を参観していただきましたが、子どもたちは、漢字の読み書きや音読など、課題に対して一生懸命に取り組む姿がみられました。こ

とわざの読みや意味を調べて、短冊にまとめる子がいて、より高度な、難しいことにも挑戦しようとする姿もみられました。今後一人一人の頑張りを認め、成長につなげていきたいと思います。

訪問を通して

二つの訪問を通して、子どもたちの成長を感じる場面が多くありましたが、中でも嬉しかったのは、六年生が自主的に校舎内の清掃をしていたことです。教室だけでなく、廊下や階段、昇降口など、お客様が通る箇所を中心に、丁寧に掃いたり、モップがけをしたりしました。お陰で、美しい環境で気持ちよくお客様をお迎えすることができました。誰かに指示されるのではなく、自ら考え行動する姿に最上級生としての自覚と責任感を感じました。この六年生の姿は、まさに「自分たちが使う場所は自分たちできれいにする」姿そのものでした。六年生の思いが、やがて下級生にも引き継がれ、よき伝統になっていくことでしょう。



鑑賞教室



金管バンドをお迎えして、鑑賞教室を行いました。五種の楽器の伸びやかな音色や美しい響きを心ゆくまで楽しむことができました。クラシックの名曲のほか、アニメの主題歌なども演奏していただき子どもたちは大喜びでした。金管楽器の伴奏に合わせて校歌の合唱もあり、大いに盛り上がりました。最後に、全校生を代表して、六年の菅野詩さんがお礼の言葉を述べ、横木歩果さんが花束贈呈をして感謝の気持ちを伝えました。

【子どもたちの感想】

◇私が特に心に残ったことは、二つあります。一つ目は、音のひびきです。音がなめらかで、すごくひびいていてすばしかったです。二つ目は、楽器の音色です。演奏が終わるたびに、どんな音色かを知ることができました。(詩)

◇ぼくが鑑賞教室ですごくいいなと思ったことは、五つの楽器であんなにはく力のある演奏ができることです。五つだけでは、オーケストラのような演奏はできないだろうと思っていました。楽しかったことは、演奏中にはく手をして、み

んなと参加できて、楽しかったです。(岳大)

◇同じ音が何度もくり返されたことがあったけれど、金管が何個もなかったです。また、音の重ね方がとても上手でした。四、六年生で見えていて、手びょうしなど、とてももり上がっていました。体育館全体にひびいていました。また拍があることで、音楽は楽しくなるんだなと思いました。(耀李)

◇私は、こてきでトランペットをたん当しています。あんなに高い音が出るとは、びっくりしました。金管楽器の説明で、コントのように分かりやすく、しくみを説明してくれて、とても楽しかったです。(漣)

◇ぼくが鑑賞教室ですごくいいなと思ったことは、トランペットで高い音が出ていることです。理由は、こてきでトランペットをやっている、あんなに高い音を出すのはむずかしいからです。すごくいいと思いました。はく力があって、すこかったし、楽しかったです。(泰星)

